

地域福祉の充実をめざして、支える心のネットワーク！



赤い羽根共同募金



# 福祉ちば

No.195

2022.11 November



エールちば

## ヤング&若者ケアラー支援を行う 「ケアラーネットみちくさ」の取り組み

### Field Study

地域福祉フォーラム実践レポート

- 富里市初の小域地域福祉フォーラム  
浩養地区社会福祉協議会  
こうよう座談会

### 県社協ニュース

- 令和5年度予算要望書を県へ提出
- 静岡市災害VCに千葉県チームを派遣

### 事業紹介

- 11月11日は介護の日 認知症・看取りのオンライン疑似体験 ほか  
千葉県共同募金会からのお知らせ

編集・発行



社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

# ヤング&若者ケアラー 「ケアラーネットみち

## 柏市 NPO法人ケアラーネットみちくさ

近年、多くのメディアで取り上げられる機会が増え、一般的な認知も少しずつ進み始めたヤングケアラー問題。柏市にあるNPO法人ケアラーネットみちくさでは、早くからこの問題に取り組み、2022年9月に第1回目となる「ヤング&若者ケアラーオンラインカフェ」を開催しました。ヤングケアラーの現状やその問題点について、同法人理事長で「ケアラズカフェみちくさ亭」を運営する布川佐登美さんと店長の布川潤さんに話を伺いました。



### 地域とともにケアラーを支援できる場をつくりたい

布川さんは以前、東京の自宅から柏市に暮らす認知症の母親の介護に通う日々の中でうつ病になり、それをきっかけに家族と別居し、母が遺した柏市の家で暮らすことになった経緯があります。その頃のことを布川さんは「介護の大変さはもとより、周囲の理解のなさに非常に肩身の狭い思いをしました」と振り返ります。この辛い経験から、介護する人を支援する場所を作りたいと、2013年に「ケアラズカフェ&ダイニングみちくさ亭」を立ち上げました。

みちくさ亭はどなたでも気軽に訪れて、食事やお茶をしながら気兼ねなくおしゃべりできる場所です。ケアラーのみならず、地域のみなさんの利用も多く、それこそまさに布川さんが望んでいたことです。「介護者への理解を進めるためにも、地域を巻き込みたいと思っていました。しかし、ケアラーを支援するカフェなんてどうすればできるのか途方に暮れていた時に、柏市社協が『介護者支援養成講座を開きましょう』と手を差し伸べてくれて、講座には40名ほど集まり、そこで方向性が見えてきたのです。社協が関わってくれたからこそ実現できたと思っています」と話します。



NPO法人ケアラーネットみちくさ  
理事長 布川 佐登美さん



NPO法人ケアラーネットみちくさ  
店長 布川 潤さん

### ヤング&若者ケアラーオンラインカフェを開催

みちくさ亭で日々ケアラーと接する中で、布川さんは、ヤングケアラー支援の必要性を痛感しています。そして、近年ヤングケアラー支援の動きが出てきたことは歓迎すべきことではありますが、18歳を過ぎたケアラーが置き去りになってしまわないかという危惧も抱えています。

厚生労働省が定義するヤングケアラーは「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども」となっています。しかし介護は、18歳を節目に終了するわけではありません。むしろ更なる重圧となって若いケアラーの人生を圧迫するケースの相談が、布川さんの元へいくつも寄せられています。

介護のせいで自分の人生をあきらめてしまったり、友人との交流を遠ざけてしまったりする若いケアラーが、閉ざしている心の内を話せる機会を設けたい、その思いで企画したのが「ヤング&若者ケアラーオンラインカフェ」です。

### わかり合える者同士がzoomで集まり、司会進行係もヤングケアラー経験者

オンラインカフェは2022年9月16日にzoomを使って開催し、20代を中心に11人の若いケアラーが参加しました。進行を務めたのは布川さんの長男の潤さんです。潤さん自身もかつてうつ病になった母をケアした経験者で、2022年2月からみちくさ亭の運営に加わっています。当時小学生だった潤さんは母親に寄り添うために、離れて暮らす布川さんのもとを毎週末訪れていました。

そして、同級生に母親がうつ病を知られたことからいじめの対象とされ、誰にも相談できずにただ孤立感を深めていた過去の記憶が、今もずっとモヤのように残っていると

# 「一支援を行うくさ」の取り組み



みちくさHP



話します。「みちくさのヤングケアラーの活動に参加したのは、自分の中にあるモヤを晴らしたかったから」との言葉は、オンラインカフェ参加者全員の気持ちではないでしょうか。第1回目のオンラインカフェはそれぞれが自分の体験や気持ちを語る会となりました。



コロナ禍前は年間で4,000人以上が訪れていたみちくさ亭。半数以上が一般のお客様で、要介護者やケアラーと自然な交流が育まれていました。

## 話すこと、聴くこと、共有することが大事

「幼少期の体験を引きずってしまっていたり、未消化のまま大人になっているケースも少なくないと感じています」と布川さんが話すように、ヤングケアラーだった人が過去の経験話す機会はほとんどありません。なぜなら、自分の家庭が特殊だと知られたくない、普通の子どもとして接して欲しいという思いをずっと独りで抱え込んできたから。

しかし、あらためて振り返り、声を出すことが大事と布川さんは指摘します。「声を出せたら、半分以上は気持ちの整理ができるのではないかと思います。オンラインカフェはそのための場所です。ヤングケアラー支援は、本人だけではなくその家族ごと支援すると捉えなければ、先に進めません。ですのでまだまだ、ヤングケアラー支援を始めているとは言えません、これからです」と話します。

## たすけあい活動で介護家族の暮らしを支援「みちくさ生活サポート ささえ～る」

みちくさ亭は全国で4番目、千葉県で初めてオープンしたケアラズカフェです。訪れる人の話をじっくりと聴いて、その気持ちに寄り添ってくれるこの場所は、多くのケアラーと地域のみなさんのコミュニケーションの場でもありました。しかし長引くコロナ禍において、やむなくカフェは休止を余儀なくされる事態に。このままでは、介護家族や一人暮らしの高齢者はますます孤立してしまいます。その打開策として同法人では2021年より介護保険の制度外サービスとして、「みちくさ生活サポート ささえ～る」というたすけあい活動を始めました。

認知症の方の見守りや話し相手、通院や外出の付き添いなどの他、住まいの掃除や買い物代行、洗濯や食事作りなど、家事の代行も有償で提供しています。また、見守りを兼ねて、心のこもった手作り弁当を宅配するサービスも行っています。



手から手へ、美味しいお弁当と思いやりを届けています。

## 世代を超えたケアラー支援の展開

今回のオンラインカフェは開催時間等の希望をSNSで募り、11月頃に開催予定とのこと。「このオンラインカフェで辛い胸の内を話し、聴き、共有することで参加者それぞれの悩みを少しでも解消し、自分の人生を取り戻したと実感できるようになることを切に願います」と布川さん。

コロナも落ち着き、人が集まってきたみちくさ亭。「孤立」をさせないみちくさの世代を超えたケアラーに寄り添う活動は今後ますます地域を基盤に広がっていくことでしょう。



結城 康博  
(淑徳大学教授)

「ケアラーネットみちくさ」の活動は、家族介護者の支えとなり公的サービスでは提供できない側面を担っていると思います。このようなケアラー（家族介護者）の話を聞いてくれる場があるからこそ「孤立」せず、介護を続けていくことができるでしょう。

特に、ヤングケアラー支援の取り組みも意識しながらの住民主体の支え手としての活動が素晴らしいと思います。このような支援があることで、潜在化しやすいヤングケアラーを顕在化することができ「支援」することができるでしょう。確かに、スクールソーシャルワーカー、学校教員といった関係者もヤングケアラー支援においては重要です。しかし、このような枠組みから、もれる層を支えていく意味では大きな役割を果たしています。

ただ、主催者の布川さんが、世間では「ヤングケアラー」と注目されてはいるものの「介護」は18歳を過ぎても終わることはなく、その先の支援も必要であるという言葉は印象深いです。ヤングケアラー支援が注目されてはいますが、やはり年齢に限らず「ケアラー」支援が社会で認知されていかないとはいけません。

このような取り組みが県内でも増え、「ケアラー」支援がどこでも実施されるような公的な費用が多く予算化されることを期待しています。

【富里市浩養地区】

## 安心して戻れる場所でありたい！ 高齢世代から学生や子育て世代の声をくみ取る 地域福祉フォーラム「こうよう座談会」の取り組み

地域福祉フォーラムは様々な団体や個人が参加し、地域づくりのあり方や取り組み方を話し合い、協働を進める活動です。平成16年より千葉県地域福祉支援計画に基づき県内各地で取り組みが進められており、現在まで36市町村・350の小地域で地域の实情に応じた活動が展開されています。

本号では、富里市の浩養地区社会福祉協議会（以下、浩養地区社協）が中心となって立ち上げた、市内初となる小域地域福祉フォーラムの取り組みについて取材しました。

### 浩養地区の概況

浩養地区は富里市の南部に位置し、富里名物のスイカをはじめ、たくさんの農産物を生産する緑豊かな農村地域です。

地区の人口は令和3年4月1日時点で1,764人、1世帯あたりの人員は2.26人、高齢化率は35.4%となっており、市全体の高齢化率28.6%を上回る状況です。

### 活動拠点は歴史ある 小学校の校舎の中

浩養地区社協の活動拠点は明治7年創立の富里市立浩養小学校の中にあります。この小学校には富里市立浩養幼稚園も併設されており、校舎1階にある「地域開放型会議室」を拠点に、児童や園児との交流を中心に様々な活動を展開しています。



### 世代を超えた交流 イベントを毎月開催

浩養地区社協では、高齢者を対象としたサロン活動をはじめ、園児や児童、障害者福祉施設の利用者が参加する落語鑑賞会、地域住民が一体となって行う敬老会等のイベントを盛んに行っていました。浩養小の運動会や、障害者福祉施設の収穫祭に地域の高齢者が毎年参加することも恒例でした。

また、1学年1クラス、全校生徒数100人に満たない浩養小では、全学年が多目的室に集まって給食を食べる伝統がありますが、そこに地域の高齢者も加わり、小学生と一緒に同じ給食を食べ、賑やかなひとときを過ごすことが月に1度のお楽しみでした。

しかし、2020年から続くコロナ禍で状況は一変。感染リスクを回避するため、ほぼ全ての活動が中止を余儀なくされる事態に見舞われました。

### コロナ禍でもつながり 続けるために

そんな中、集まって行う活動は全て中止となりましたが、今まで培ってきた地域のつながりを絶やさないためにも、コロナ禍でも何かできることはないかと模索し、当時はマスクの品薄状態が続いていた状況から、子どもたちへ手作りマスクをプレゼントする活動を行うことにしました。

マスク作りは、コロナ以前にサロン活動に参加していた高齢者にも声をかけて行い、様々なサイズやデザインのマスクを浩養小と浩養幼稚園の子どもや教職員へ贈ることができました。

現在は感染対策を講じながら、少しずつ活動を再開しており、令和4年4月にはイチゴ狩りを実施し、11月と12月には浩養小の子どもたちと交流するサロン活動を再開する予定です。



浩養地区社会福祉協議会長 佐々木 佳代さん

### 富里市初の小域地域 福祉フォーラムを立ち上げ

これまで世代間の交流に力を入れてきた浩養地区社協ですが、佐々木佳代会長をはじめ、地区社協のメンバーは、「これからは学生や子育て世代の声も反映させた地域づくりを進めていきたい」

との共通した思いを持っていました。

そうした折、第3次富里市地域福祉活動計画の策定にあたって市内全8地区で地域福祉座談会を開催することになり、浩養地区社協ではこれを好機と捉え、座談会のメンバーとして子育て世代や、福祉施設で働く若い世代などにも声をかけました。

期待どおりに活発な意見が出されたこ



富里市社会福祉協議会会長 宮川 朱美さん

の座談会をきっかけとして、地区社協、地域包括支援センターや民生委員も加わる形で実行委員会を組織し、令和3年11月、市内初となる小域地域福祉フォーラム「こうよう座談会」を立ち上げました。

## 「こうよう座談会」が 目指すもの

こうよう座談会では、「コロナ禍で希薄となった小学校・幼稚園とのつながりの回復」と「浩養の魅力の発信」を重点項目として、様々な世代の意見をくみ取っていきたくと考えています。

令和4年8月には、高校生以上の若者世代を対象とした1回目の座談会を予定。しかしコロナ禍により来夏へ延期となりました。今後、子育て世代、高齢世代を対象とした座談会も予定しています。

「活動を継続していくためには次の世代にバトンをつないでいく必要があります。次を担ってもらえる若い世代に地域の活動へ積極的に加わってもらうことが重要だと思っています」と、富里市社会福祉協議会会長であり浩養地区の民生委員を務める宮川朱美さんは話します。



実行委員会メンバーの1人が紙面作成やweb関連を担当。地域の魅力と浩養地区社協の活動を発信しています。



こうよう座談会HP



主任児童委員 本橋 幸子さん

## 魅力あるふるさと、 浩養地区を発信

活動の柱として、浩養地区の魅力を発信するための広報誌の発行、ガイドマップの発行、座談会の開催に取り組んでいます。ホームページとインスタグラムも開設しました。

「ここはあったかい地域なんです。ここで育った子どもたちが大人になり別の場所で暮らしたとしても、戻りたくなったりいつでも安心して戻れる場所でありたい。地域福祉フォーラムで地域の魅力や課題などを話し合い、より暮らしやすい浩養地区にしていきたいと思います」と主任児童委員の本橋幸子さん。この言葉には、メンバー全員の気持ちが集約されています。

「こうよう座談会」が発信する浩養地区の魅力が、この地区に暮らす皆さんにとってふるさとの良さを再認識する機会となるとともに、地域活動への関心が高まることに大きな期待が寄せられています。

富里市社会福祉協議会 TEL 0476-92-2451

## 社協に親しみやすさを！マスコットキャラクターとコラボした事業展開

「マスコットキャラクターを使ってもっと社協をPRしたい!」という職員の思いから、富里市社協は、令和4年6月～7月にかけて、広くマスコットキャラクターの公募を行いました。その結果、全国から166作品もの応募があり、選考を経て、最優秀賞作品の「さとしくん」が富里市社協のマスコットキャラクターとして誕生しました。



富里市社協マスコットキャラクター「さとしくん」

富里市社協は、今後様々な事業と「さとしくん」をコラボさせることで、多くの地域の方々に富里市社協の存在や活動を知ってもらい、これまで以上に活動の協力者を増やしていくことや、まだ支援の手が届いていない方ともつながってきたいという狙いがあります。

令和3年9月には、富里市と連携をし、

フードロス対策や生活に困窮している方への食料支援を行うため、企業や家庭で不要になった食品や飲料を受け入れる「とみさとフードバンク」を開設し、富里市社協と富里市の各窓口には、食品回収ボックスが常設化されています。

例えば、こうした活動の周知に「さとしくん」を起用することで、地域の方々には親しみやすく身近な活動であると感じてもらい、結果的には寄付者の増加や緊急的に食料が必要な方へ食料が届きやすくなればと期待しています。

また、富里市名産のスイカをイメージした全職



員統一の真っ赤なポロシャツを着用して地域活動を行うなど、地域の方々に富里市社協という存在を身近に感じてもらうよう工夫を凝らしています。

これまでも様々な活動に取り組んできた富里市社協ですが、これからは「さとしくん」という強力なパートナーとタッグを組み、地域の皆さんのためにより一層邁進していきます。



富里市社協のみなさん(マスコットキャラクターに決定したさとしくんを囲んで)

# 令和4年12月1日より歳末たすけあい募金が始まります

歳末たすけあい募金は共同募金の活動のひとつで、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人が安心して暮らすことができるよう毎年12月に実施されます。歳末たすけあい募金には市町村の区域ごとに行う「市町村歳末たすけあい募金」と「NHK歳末たすけあい募金」があります。

今年も県内のさまざまな地域課題の解決のために、歳末たすけあい募金への温かいご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 市町村歳末たすけあい募金 (地域歳末たすけあい募金)

市町村を単位に全国で行われる運動で、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を重点的に展開するものです。

お寄せいただいた寄付金は、全額が集められた地域で使われ、お正月料理を配りながらの見守り訪問など、支援を必要としている人たちが安心して新年を迎えることができるよう様々な福祉活動に役立てられます。



ひとり暮らしの高齢者の  
安否確認・お弁当配布【習志野市】



高齢者向けパソコン教室の開催  
【松戸市】

## NHK歳末たすけあい募金

毎年NHKと共同募金会の共催で行われる、たすけあい運動です。

お寄せいただいたご寄付は、県内の福祉施設での介護用品や就労支援作業用品、防災備品、新型コロナウイルス感染症対策備品の整備などに役立てられます。昨年は千葉県内116施設への助成に役立てられました。



生活介護施設の  
足踏み式消毒液の購入【君津市】



特別養護老人ホームの  
車いす購入【市川市】



令和4年度 NHK歳末  
たすけあいポスター

### 令和4年度 歳末たすけあい募金目標額

# 2億4,000万円

内訳 市町村歳末たすけあい募金……2億1,000万円  
NHK歳末たすけあい募金 …… 3,000万円



皆さまの温かい  
ご理解・ご協力を  
よろしくお願いいたします



### 共同募金は、時代とともに変わる「みんなのため」の募金です



共同募金運動は、第二次世界大戦後、昭和22(1947)年に「国民たすけあい運動」として戦後復興を目的に始まりました。現在では、高齢者や障がい者に対する支援のほか、子ども食堂の運営や地域の交流のための事業など、時代の移り変わりに合わせたさまざまな地域の課題解決に取り組んでいます。赤い羽根募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」。長年、運動に携わってきたボランティアの皆さま、寄付者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

### NHK歳末たすけあい助成を受けたい方へ

#### 令和4年度の助成内容

|      |                                |                     |
|------|--------------------------------|---------------------|
| 助成内容 | 社会福祉法人・NPO法人・任意団体等の利用者に役立つ備品購入 |                     |
| 助成率  | NPO法人・任意団体<br>その他の団体           | 算定額の100%<br>算定額の75% |
| 助成上限 | 20万円                           |                     |
| 申請期間 | 11月22日まで                       |                     |
| 助成時期 | 令和5年3月上旬                       |                     |

助成申請書や要綱は当会ホームページにてダウンロードいただけます。  
<https://akaihane-chiba.jp/> 詳しくは下記までお問い合わせください。

### 社会福祉法人千葉県共同募金会

〒260-0026  
千葉県千葉市中央区千葉港4-3 県社会福祉センター 2F  
TEL:043-245-1721 FAX:043-242-3338  
<https://akaihane-chiba.jp/>

赤い羽根 ちば 検索



### 災害に強い千葉県をめざして! ~令和5年度予算要望書を県へ提出~

本会は、「令和5年度千葉県の予算に関する提案・要望」を8月31日に石渡会長から 高梨 みちえ 千葉県健康福祉部長に提出しました。市町村社協からの要望や意見を踏まえ、「重点要望事項」として災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営に関する2項目について強く要望し、石渡会長より「本会だけでなく、県と市町村社協の三者で連携して取り組んでいきたい」との説明を行いました。

また、福祉人材の確保・定着の促進や千葉県災害福祉支援チーム(DWAT)に関することなど、5項目も併せて要望を行いました。

お問い合わせ先 総務部Tel 043-245-1101



高梨部長(左)に要望書を提出する石渡会長(右)

### 社協の「つながり」で被災地支援 ~静岡市災害VCIに千葉県チームを派遣~

令和4年台風第15号による豪雨災害にともない静岡市災害ボランティアセンター(清水区センター)に、千葉県チームを派遣しました。災害時の相互協定により静岡県社協からの要請を受け、関東ブロック内都県・政令市社協が派遣職員を募り交代で現地入りしました。

千葉県からの派遣期間は10月9日~13日、18日~22日の計2クールで、それぞれ県内各地から集まった10名(県社協2名含む)の職員が支援に駆け付け、その中には令和元年房総半島台風等で支援を受けた市町村社協職員の姿もありました。

現地で活動した職員からは、「私たちが被災した際に、仲間が駆け付けてくれたことがとても心強かったので、その想いを「つなぐ」ため参加しました」、「市街地は少しずつ日常に戻っていますが、山間部は被災の後がまだまだ残っており、長期的な支援が必要だと強く感じました」などの声が聞かれました。



#### 今回職員派遣を行った県内社協

市川市 館山市 木更津市 市原市 鴨川市  
浦安市 四街道市 南房総市 芝山町 大多喜町  
(以上、各1名)  
千葉市 (6名) 千葉県 (4名)

11月以降も継続した支援が想定されています。



運び出された災害廃棄物の山



ミーティングの様子

お問い合わせ先 総務部Tel 043-245-1101

### 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

## ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
**コチラ**  
(ふくしの保険ホームページ)



#### 保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

| 保険金の種類  |                      | プラン    | 基本プラン                 | 天災・地震補償プラン | 【新設】特定感染症重点プラン |  |
|---------|----------------------|--------|-----------------------|------------|----------------|--|
| ケガの補償   | 死亡保険金                |        | 1,040万円               |            |                |  |
|         | 後遺障害保険金              |        | 1,040万円(限度額)          |            |                |  |
|         | 入院保険金日額              |        | 6,500円                |            |                |  |
|         | 手術<br>保険金            | 入院中の手術 |                       | 65,000円    |                |  |
|         |                      | 外来の手術  |                       | 32,500円    |                |  |
|         | 通院保険金日額              |        | 4,000円                |            |                |  |
|         | 特定感染症                |        | 補償開始日から10日以内は補償対象外(*) |            | 初日から補償         |  |
| 賠償責任の補償 | 地震・噴火・津波による死傷        |        | ×                     | ○          | ○              |  |
|         | 賠償責任保険金<br>(対人・対物共通) |        | 5億円(限度額)              |            |                |  |
| 年間保険料   |                      |        | 350円                  | 500円       | 550円           |  |

\*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

#### <基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



#### ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

#### 送迎サービス補償

(傷害保険)

#### 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

#### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

#### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

「11月11日」は「介護の日」

# 認知症・看取りの

## オンライン疑似体験 (オンデマンド配信)

VR映像で  
当事者の視点を  
体験してみませんか

PCやスマホなどの画面から認知症の方の目線を体験し、当事者のインタビュー動画等を視聴していただくプログラムです。

※通常はVRゴーグルをつけて体験するプログラムですが、このオンデマンド配信は、ゴーグルは使わずにVRの映像をご視聴いただけます。

配信期間

令和4年

11月11日金  
~17日木

申込  
不要

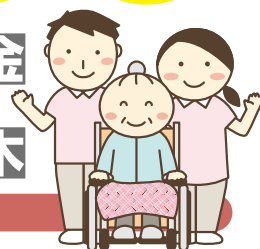
参加費  
無料

内容

- 1 私をどうするのですか  
(認知症の視空間失認の症状体験)
- 2 レビー小体病幻視編  
(レビー小体型認知症の幻視の症状体験)
- 3 生きとし生けるもの  
(看取りのドキュメンタリー)

視聴方法

千葉県福祉人材センター HP内、  
「介護の日のイベント」ページ  
<https://www.chibakenshakyō.net/welfare/dayevent/>にアクセスし、視聴用URL (YouTubeでの期間限定公開) にアクセスしてください。



「介護の日のイベント」  
ホームページ

# 外国人介護人材の受入に関する 制度説明会のお知らせ

参加費  
無料

千葉県外国人介護人材支援センターでは、外国人を介護職員として受け入れることを検討している介護施設向けに、制度説明会を開催します。

多彩な講師が、在留資格ごとの雇用制度を分かりやすく解説するのはもちろん、介護福祉士を目指す留学生たちが養成校から介護現場へ旅立つまでの様子、実際に外国人介護職員が生き活きと勤務している施設の秘訣まで、様々な内容の講演を行います。

さらに、当日は外国人介護職員ご本人から貴重な経験談も聴くことができます。

日時

令和4年

11月24日木

13:00 ~ 16:25

会場

TKPガーデンシティ千葉  
3階 ファンタジア

千葉市中央区問屋町1-45

定員:50名

- 1 「外国人介護職員を雇用できる制度の概要について」  
講師 行政書士 大平 泰弘 氏
- 2 「介護福祉士養成施設の学び、日本の介護の場へ旅立つ、留学生の実際」  
講師 成田国際福祉専門学校  
国家試験対策室長 山本 英清 氏
- 3 「外国人介護職員定着への事例紹介」  
講師 特別養護老人ホームとどろぎ一輪荘  
介護長 福地 淳司 氏  
施設職員 グエン・ティ・ハン 氏
- 4 「事業者に対する支援について」  
講師 千葉県健康福祉指導課 福祉人材確保対策室

<制度説明会に関する問合せ先>

千葉県外国人介護人材支援センター

ホームページ / <https://cfcc.jp/>

電話 / 043-205-4780

メール / [supportcenter@chibakenshakyō.com](mailto:supportcenter@chibakenshakyō.com)



編集・発行 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

令和4年11月1日発行

〒260-8508 千葉市中央区千葉港4番3号 TEL.043-245-1101 FAX.043-244-5201  
<http://www.chibakenshakyō.com>

広報誌「福祉ちば」の発行には、一部共同募金の配分金を充当しています。